

事業所自己評価シート(放課後等デイサービス cocoon)

職員による自己評価

A 環境面

- ・環境に関しては適切に使うことができている。
- ・日々の清掃、消毒等引き続き徹底したい。
- ・今年度はトイレをリフォームできてよかった。

B 児童への支援内容

- ・一人ひとりの特性にあった支援ができるように工夫している。
- ・子ども同士の仲間意識を高め居場所としての役割をより強化できるよう努めた。
- ・スタッフ間で、子ども別に支援内容や状況を共有するためのツールの導入を図った。

C 関係機関との連携

- ・学校、医療機関、計画相談との連携を深めた。
- ・地域のイベントへの参加や紹介を行った。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・連絡帳の活用や SNS での発信を工夫している。
- ・年に2回保護者・家族参加型の催しを実施した。
- ・保護者面談を定期的実施し、個別支援計画書の見直しや支援内容の共有に努めている。

E 非常対応

- ・研修や避難訓練を定期的開催している。
- ・非常食の備蓄確認、蓄電池の設置を行った。

保護者による評価

A 環境面

- ・概ね高評価である。
- ・子どもたちが、心地よく楽しく過ごす事ができる環境設定への工夫が伝わっている。

B 児童への支援内容

- ・事業所内のプログラムは、満足度が高い。
- ・子どもが満足している。

C 事業所からの情報発信

- ・日頃の活動の報告について概ね好評である。
- ・こどもの様子を共有できることを楽しみにしている。
- ・地域の関係団体との交流の様子が伝わっていない。

E 非常対応

- ・緊急時対応の整備はできているが、緊急対応マニュアル等の保護者への周知が完全にはできていなかった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援内容や環境設定に関しては、昨年度までと同様に、概ね適切という認識であった。

【相違点】

- ・地域との連携は積極的に行っているが、他の子どもたちとの交流に関する意識にずれがあった。
- ・事業所から提示する面談や送迎時の対応に関して保護者の満足度は高いが、保護者側からの相談・苦情の申し出をする方法に関する説明が不足しており、相談しやすい方法の工夫が必要である。
- ・緊急時対応マニュアル等に関しては、スタッフ研修や避難訓練を実施したタイミングで、保護者にも周知している認識だったが、説明が不十分であった。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・「ムーブメント教育・療法」を基軸とした発達支援の実践理論に基づいて、創造性の高い独自の支援プログラムを提供できている。
- ・こどもの成長による変化や保護者の要望を支援内容に反映しながら、活動内容を更新できている。柔軟な対応・支援ができているので満足度は上がっている。
- ・情報発信の頻度と内容の充実度を高め続けている。
- ・こどもにとって、「居場所」としての役割を果たすことの意義をスタッフ間で共通できている。

### 事業所の改善点

- ・地域連携の活動の充実、外部団体との交流内容の再検討。
- ・情報発信や保護者との連携強化のためのツールの検討、導入。
- ・緊急時対応等に関する活動の保護者への報告強化とマニュアルの周知。
- ・保護者の方から相談や苦情を申し出る方法が周知できていない。

### 事業所の改善への取り組み

- ・緊急時対応マニュアルについては、契約時だけでなく、毎年度、保護者への個別の説明と確認を行う。
- ・地域の連携や交流の強化を図り、同時に、保護者への情報共有の方法を改善する。
- ・保護者から保護者からの相談や苦情を申し出やすい環境整備や方法の検討。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

本事業所は、来年度、10年目の節目の年を迎える。小1から通い続けている児童が高校生となり、新しい仲間も増え、異年齢による集団プログラムを軸とした専門的な発達支援を展開できている。cocoon という単語には「繭」という意味がある。「糸を紡ぎ合うように、この場を担う自分と他者への気づきを紡ぎ、大切にしていこう」、「cocoonでの体験を力にして、ここから踏み出しそれぞれの生きる道へ羽ばたいてほしい」・・・という開所時に込めた想いを変わらず大切にしながら活動を提供してきた。家庭と学校に次ぐ、第3の生活の場、安心できる「居場所」であるために、常に改善工夫を重ねている。今回、2024年度を振り返り、保護者のみなさまの評価から、確かな手応えを得つつも、十分に共有できていない点やより改善すべき課題も見つかった。来年度は、保護者のみなさま、地域の関係機関と連携協力をより一層高めながら改善に努めたい。さらに、研修内容を充実させてスタッフの資質向上を図りたい。本事業所の活動の基盤である「ムーブメント教育・療法」の達成課題は「健康と幸福の達成」であり、これに沿って、引き続き、こどものウェルビーイングを高めるために充実した活動を展開していきたい。

事業所名 放課後等デイサービス cocoon

公表日 2025年 4月 21日

対象人数（保護者）26人（2025年3月現在） 回答者数 23人 回収率 88.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87.0%	13.0%			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95.7%	4.3%			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91.3%	8.7%			・視覚重視の分かりやすい環境設定を工夫している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%				・清潔なのはもちろん、アートプログラムの作品が飾られていて、楽しさが伝わってきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていると思いますか？	95.7%	4.3%			・とても内容の濃い計画書を作成してもらって満足している。
	6 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95.7%	4.3%			・長く通っているが、常にプログラムが更新されていて、感心しています。
	7 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	56.5%	26.1%	17.4%		・地域の活動には参加しているようだが、子どもたちとのかわりがあるのかはよくわからない。
保護者 への 説明等	8 支援の内容や利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%				
	9 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	95.7%	4.3%			
	10 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか？	95.7%	4.3%			・面接で丁寧に相談にのってもらえた。
	11 家族等も参加できる催しや情報提供の機会等により、保護者同士の連携が支援されていますか？	78.3%	21.7%			・発表会や保護者参加型の催しが楽しみ。 ・親同士が話す機会がもう少しあってよいかも…。
	12 保護者に対して、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95.7%	4.3%			・面談時だけでなく、送迎の際の言葉かけにも支えられている。
	13 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%				・あたたかい放デイだと思います。
	14 こどもや家族からの相談や苦情について、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	87.0%	13.0%			
	15 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0%				・丁寧に説明してくれる。
非常時 等の 対応	16 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100.0%				・活動報告が丁寧で、SNSや通信でも発信がある。 ・cocoonで楽しく過ごしている様子が伝わってきて、嬉しい。
	17 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95.7%	4.3%			・公表にあたっての写真の取扱い等の確認が細くなされた。
満足 度	18 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	95.7%			4.3%	・わからない
	19 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	95.7%	4.3%			・子ども自身から避難訓練の話聞いて、しっかり対応してくれているのだと、安心する。 ・まだ経験していない。
満足 度	20 こどもは通所を楽しみにしていますか。	91.3%	8.7%			・楽しく通所している。 ・安定した居場所になっている。
	21 事業所の支援に満足していますか。	100.0%				・子どもに必要な運動療育やSSTが保護者に分かる形で行われていると思う。面談でも親身に相談にのって頂いている。親も気づけないような子の良い所を見つけて教えて下さり、感謝している。